

資料4

KFC・OB会設立討議資料（平成21年2月4日 矢ヶ崎さん作成資料）

1. 役員会を充実し、幹事会を廃止する。役員は各自担当を持ち、必要であればその下に世話人を配置する。
2. 監査役は守永、山口両氏にお願いする。
3. 顧問・アドバイザーをセットし、前会長、副会長、代表の方々から数名お願いする。
4. 役員担当は以下の通り：

会長： 矢ヶ崎	主たる担当：すべて
副会長： 赤羽	：すべて
総務： 白川	： 名簿
和田	：総会（準備、通知等） 但し、物理的作業は全員参加
企画： 岩井、馬場、村上	： イベント等
広報： 村上	： ホームページ
和田	： 編集（会報）、印刷。 発送等物理的な作業は全員で
会計： 馬場	： 会計
荒井	： 会費徴収
5. 会費は年2,000円。以外に永世会員（30,000円位か）、寄付金（1口1,000円位か）の制度を設ける。 振込みはコンビニでも使用可能な用紙にする。
6. 本部は以前の通り三田の ”吉田” にする。
7. 各年度に連絡役（原則元幹事長）をお願いする。
8. 入会の意思確認は会費の支払をもって自動確認とする。3年連続未払いの場合は入会資格はあるが未入会扱いとする。
9. 会報は白黒MAX8ページ程度のものとし簡素化・節約する。その分HPIに誘導する。
10. 新OB会の名称は「波紋」でどうか。
11. 総会以降、前役員、世話人代表は新担当役員と各個別に3月中旬ごろまでに引継ぎを完了する。
12. 新OB会役員会は原則隔月おきに開催する。
13. 総会は基本的に年1回開催。内容は予算、決算の承認と活動報告。
14. OB会は基本的にOBへの提供（情報・イベント）が中心。会としてのイベントは年1,2回のオールKFCの類のようなものとし、後は今までどうり企画は各メンバーが自由に企画する。

即ち活動は今までと何等変わることなく、加わることは釣魚会卒業生全員に受け皿を提供することである。卒業生全員がいつでも帰る故郷があるようなOB会の場を提供することにある。従って、現役釣魚会との交流・支援もOB会の役目。また、名簿のアップデートもOB会の役目、但し内容については慎重に。
15. 50周年祝賀会資金は一般会計に繰り込むが、釣魚会再興資金は現役の為のものであるから独立会計とする。

16. 各自の企画の安全と責任は今までどおり各企画の責任で行うものとする。
17. 以上を踏まえて規約の変更を総会までに完了する。
18. 新OB会設立準備委員はシニア会役員と各世話人代表と新OB会役員で持って構成する。

新OB会は基本的に今の活動の輪を卒業生全体にまで広げ、等しく情報と交流の場を提供をし各年次と各世代の橋渡しを目的とし、卒業後何時でも何処でもアクセス出来る場・故郷を皆に提供するものである。

以上